



Mod. **9113**
Megaseat

9113 Megaseat



機能仕様

9113は交換可能なパーツで構成された、ゆったりとしたサイズのモジュラーシートです。

最小軸間距離は58cmです。この距離は、より広いアームレストを提供することやユニット間の幅を設けるためではなく、座面及び背もたれのサイズを増幅させるためにもたらされる距離です。そのため、実際の背もたれ幅は56cm、ハイクラスの快適さを実感できるサイズです。

座面と背もたれは内部メタル構造で成型加工されたポリウレタンフォームの2つのブロックで構成されています。布張りは継ぎ目や縫い目が無いインテグラル（一体型）フォームシステムを使用したクッション材に密着しています。インテグラルフォームシステムは必要に応じて、正確な交換を保証します。

TSシステムの防災用保護幕は座面と背もたれの両方のクッションと布地の間に組み込まれており、火がフォームに到達するのを防ぎ、炎の拡大及び有毒ガスの放出を遅らせます。

背もたれのクッションはより快適を実感できるよう垂直及び水平な溝が組み込まれたアノミカル（人間の身体の構造に合わせた）形状となっています。座面クッションは、滑らかなアノミカル形状となっており、ほこり等の蓄積を防ぐため、通常タイプのような溝はありません。

座面と背もたれの裏側に使用されているポリプロピレンのシェルは水洗いが可能なので、傷または汚れが背面の布地に表れるのを防ぎます。

シートは固定式です。

それぞれのシートには中央に脚が取り付けられており、隣接した席と連結するための内部の結合ブリッジで保持されているので、完全に堅牢で安定した列を形成することが出来ます。脚は鋼管でできており、ブラック又はグレーのポリエステル塗装が施されています。椅子は延長プラグで床にしっかりと固定されています。座面は脚の底を通して部屋の特定な傾斜に適應します。また列は相互連結した背もたれによって堅牢で安定した配列を可能にし、床への設置も強固にします。

アームレストは内部にメタル構造が組み込まれた半硬質ポリウレタンフォームでできています。各アームレストにはコンパクトな内蔵型カップホルダーが備えられています。

オプションで、背面パネルの上部に布地部分を取り付けることや、座面には全体に布地を張ることも可能です。

背もたれはHR（ヘッドレスト）仕上げを施すことも可能です。この背もたれのタイプは一体型のヘッドレストを備えていることが特徴です。逆に言えば、これは付属品ではありません。しかし背もたれには不可欠な部分です。ヘッドレストシステムの利点は、これが背もたれの自然な延長線にあるため、別個のアイテムではないということです。

9113 Megaseat



技術仕様

構造:

スチール管とプレート及び連続ワイヤー供給によるアーク溶接

ポリウレタンフォーム:

座面の密度: 60-65 Kg/m³

背もたれの密度: 50-55Kg/m³

塗装:

静電ポリエステル粉末

被膜の厚み: 70 - 80 ミクロン

グリッドの粘着度: 100%

布地張り (防災基準):

スペイン: UNE-EN 1021 Parts 1 & 2

フランス: NF D60-013

イタリア: UNI 9175 Class 1JM

ドイツ: DIN 66084

ポリプロピレン:

材質: 共重合体ポリプロピレンF-727

収縮抵抗 (ISO 527-2): 26 MPa

弾性基準 (ISO 527-2): 1250 MPa

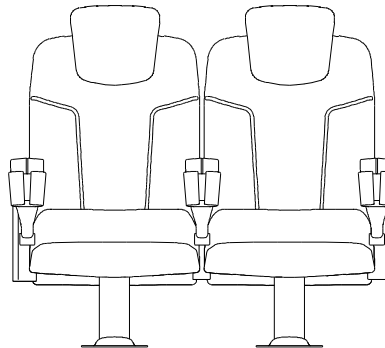
最終製品:

UNE-EN 12727 Level 4 (厳格な使用)

BS 5852. 項目12 点火ソース 0, 1 及び5

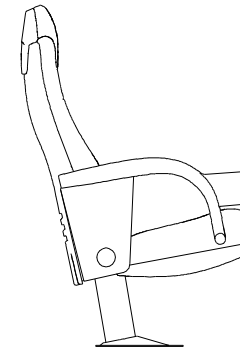
アメリカ: CAL T.B. 133 (認可された生地)

35 58 - 60
13.8" 22.8"-24.4"



109

42.9"

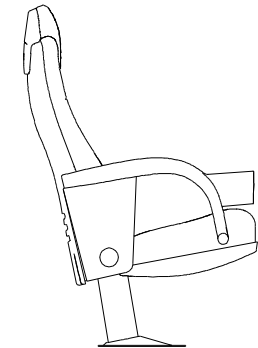


110

43.3"

79

31.1"



9113 Megaseat

